

5. 国際対応委員会

令和3年度の国際対応委員会における主な活動状況は次のとおりである。

5-1 委員会の構成

委員長	芹沢 徹	(古河電工パワーシステムズ)
委員長代行	恩田 将樹	(古河電工パワーシステムズ)
副委員長	多田 博幸	(日本エナジーコンポーネンツ)
	(杉谷 佑斗から途中交代)	
委員	小林 聖	(住電機器システム)
委員	萩原 正則	(谷川電機製作所)

5-2 委員会開催日及び場所

第87回	令和3年 6月22日	JCAA事務所
第88回	令和3年10月19日	JCAA事務所
第89回	令和3年12月 7日	JCAA事務所
第90回	令和4年 3月 3日	JCAA事務所

5-3 委員会出席者数 計19名

5-4 審議資料 計12件

5-5 審議内容及び主な活動内容

(1) 電力ケーブル接続技術に関する調査及び調整事業

① IEC、IEEE等海外規格と国内規格の間で発生する諸課題への対応

IEC TC20国内委員会のメンバーとして活動した。

② 海外の配電用ケーブル接続用品及びその技術動向に関する調査

新型コロナウイルス感染等の情勢により、技術者派遣は中止とした。Web参加型イベントの調査を実施した。

③ 海外技術文献の抄訳

海外技術論文抄訳は、Jicable'2019論文集より「Fault mechanisms of incorrectly installed force springs for ground screen connections in medium voltage cable systems」(中電圧ケーブル系統における接地しゃへい接続用ロールスプリングの施工不良時の故障メカニズム)を選定し抄訳を行った。抄訳は令和4年8月発行の会報No. 103に掲載予定とした。

(2) 海外における電力ケーブル接続技術に関する講習会及び講演会等の開催事業

新型コロナウイルス感染拡大等の情勢により、海外高圧ケーブル工事講習会の検討は中止とした。